

## コードワード登録手順

### 1 ライセンスツールのインストール

コードワードを登録する前にライセンスツールのインストールが必要です。

ただし、すでに別製品で同ツールをインストール済みの場合には、新たにインストールする必要はありません。

#### Windows の場合

- 1) マシンの OS を立ち上げ、システムに管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインします。
- 2) Program Product の入った CD-ROM を CD/DVD ドライブに挿入します。
- 3) ご使用の製品に合わせて、【Setup.exe】を選択し、インストールを行います。

製品が 64bit の場合

Windows¥licensetool¥setup¥64bit¥Setup.exe

製品が 32bit の場合

Windows¥licensetool¥setup¥32bit¥Setup.exe

### 2 コードワード登録

製品のライセンスロック解除を行うためには、その製品を使用するマシンにコードワードの登録を行います。

コードワードの登録は、以下の手順で行ってください。

まず、システムに管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインした後、[スタート]–[すべてのプログラム]–[アクセサリ]–[コマンドプロンプト] を選択した状態で右クリックし、「管理者として実行」を指定して、コマンドプロンプトを起動します。起動したコマンドプロンプトから、<Windows ディレクトリ>¥n2l2\_lockinfo.ini ファイルを開きます。もし、ファイルが存在しない場合は、起動したコマンドプロンプトから、メモ帳などのテキストエディタを使って<Windows ディレクトリ>¥n2l2\_lockinfo.ini ファイルを作成し、コードワードを追加します。

このファイルの最終行（必ずファイルの最終行に追加してください。コードワードは、通常、ファイルの下方にあるものが優先されます）に以下の例にしたがって書き込みを行ってください。

1 行目はコメントです。コードワードがどの製品のものかわかりやすいように、製品名と使用開始日を入力しておいてください。2 行目以降には、有償ロックキーと入手したコードワードを入力してください。有償ロックキーとコードワードは、スペースで区切ってください。また、文字数が多くなりますが、必ず 1 行に入力してください(途中での改行は不可)。

以下が記入例です。

ライセンスの CPU 数とマシンの CPU 数が同じ場合(1CPU ライセンス、1CPU のマシン)

```
# Product name = ProductABC Start date = 2012/10/01
```

```
UL1234-001 CllgfbE8VJdkvg4%QUFferf3MtnTyVFjXQIFTI32XYsnYQK%NPwT#lGfXkY%lhXJU6g
```

CPU 増設などでライセンスを追加入手した場合

```
# Product name = ProductABC Start date = 2017/10/01
```

```
UL1234-001 CllgfbE8VJdkvg4%QUFferf3MtnTyVFjXQIFTI32XYsnYQK%NPwT#lGfXkY%lhXJU6g
```

```
UL1234-001 6IT6H%ZjeqFBfUEg%DkMcpKglKq%v5vsqMs#UepPp3IAFYtV%qOMTgxFQcNKNvHujN
```

※複数行に分けてマシンのソケット数分のコードワードを入力してください。

コードワードの入力後、入力ミスがないか良く確認してください。

以上で、ライセンスロック解除の手続きは終了です。

#### ■ 注意事項

n2l2\_lockinfo ファイルには、複数の製品のコードワードが登録できます。

マルチ CPU 環境で 1CPU 用のコードワードをご利用になる場合は、複数の行に分けて

有償ロックキーとコードワードを入力してください。(コアライセンスの場合も同様です。)

以上

<sup>1</sup> 環境変数 SystemRoot の値です。